

東京海洋大学 公開シンポジウム
大学シーグラントプログラムと持続可能な海洋利用
～米国、韓国の実例と我が国の今後の方向性～

日時：2016年5月16日（月）10:00-17:00 [開場 09:30]

会場：東京海洋大学品川キャンパス 楽水会館1階大会議室

参加：無料（事前申し込み不要）

講演はすべて英語で行われます（通訳なし）。

海洋教育や海洋利用に関心のある方のご参加お待ちしております。

主催：東京海洋大学 海洋システム観測研究センター

東京海洋大学 江戸前ESD協議会

東京海洋大学 戦略的イノベーション創造プログラム（SIP）

「次世代海洋資源調査技術」採択事業

「海洋資源開発による新海洋産業創出に向けた、海洋の総合的な管理に関する研究」

米国のNational Sea Grant College Programは連邦政府（NOAA）によって所管されている全米33大学プログラムのネットワーク組織です。各大学のプログラムでは沿岸海域等の環境保全と利用に関連した研究、教育、訓練、アウトリーチ活動等が展開されています。韓国においても2000年に海洋水産部によりKorea Sea Grant Programsとして全国7地区のプログラムが設立され、米国と同様の活動が行われています。我が国でも、海洋環境や海洋利用に関する研究と社会連携にもとづいて、国民の海洋に関する認識を高めていく必要性が指摘されています。

本シンポジウムでは米国（ハワイ、オレゴン等）、韓国（済州、京畿、江原）の各シーグラントプログラムおよびNOAAの活動と我が国の海洋教育の取り組みについての情報交換を行い、今後の国際協力のあり方や我が国におけるプログラム展開のあり方について議論します。

海外・学外からの参加予定者

来賓：衆議院議員・外務大臣政務官 黄川田仁志 様

Darren T. Lerner博士、Darren K. Okimoto博士（ハワイ大学）

Shelby Walker博士（オレゴン州立大学）

Michael Spranger教授（フロリダ大学）

Terry Schaefer博士、Emily Tewes氏（NOAA）

Byung-Gul Lee教授、In-Taek Oh氏、Geum-Hee Yang氏（済州大学校）

Seung-Buhm Woo教授（仁荷大学校）

Sang-Min Lee教授、Yi-Kyung Kim教授（江陵原州大学校）

Kyoung-Seon Lee博士（木甫海洋大学校）

市川洋 博士（日本海洋学会教育問題研究会 元会長）

窪川かおる 博士（東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センター）

古川恵太 博士（笹川平和財団海洋政策研究所 海洋研究調査部長）

ほか

本事業は「2016年度日本海洋学会青い海助成事業」のご支援をいただいで実施致します。

また、SIP次世代海洋資源調査技術 既存研究の充実に向けた研究開発提案《海洋資源開発による新海洋産業創出に向けた、海洋の総合的な管理に関する研究》の一環としても行っています。